

アセットライ

AT ADMINISTRATION (CAYMAN) LIMITED
作成日：2016年9月30日

2016年8月運用報告書(2016年8月1日～2016年8月31日)

純資産の推移(一口=百万円)

【年平均騰落率：5.50%】

	設定時 (1999/2/1)	2016年4月末	2016年5月末	2016年6月末	2016年7月末	2016年8月末
1口あたりの 純資産価額(円)	1,000,000	2,036,006	2,013,765	2,048,388	2,044,770	1,968,330
月次騰落率	—	0.95%	-1.09%	1.72%	-0.18%	-3.74%
設定来騰落率	—	103.60%	101.38%	104.84%	104.48%	96.83%

各セクターごとの損益

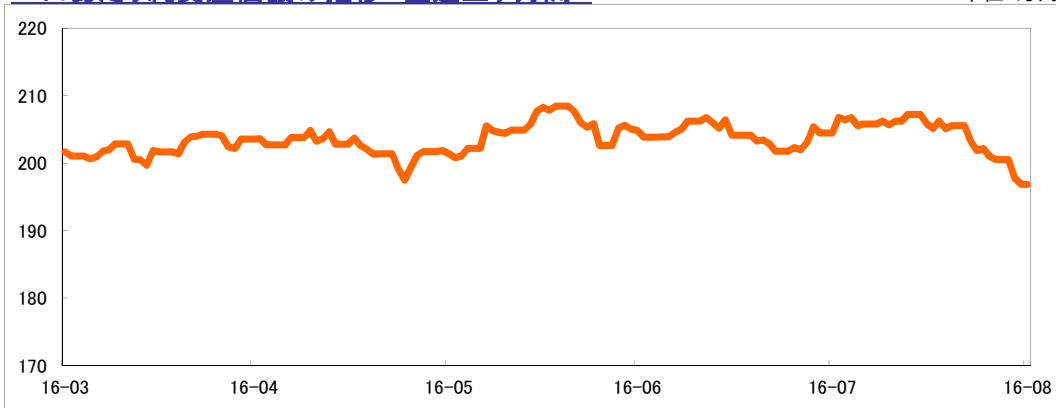
2016年8月の運用成績はマイナスとなり、アセットライは前月比3.74%の損失となりました。

通貨・為替	金利	株価指数	エネルギー	金属	農産物	その他商品
-	--	-	--	--	+	-

(注) +は利益、-は損失、その数が損益の大きさを表しています。

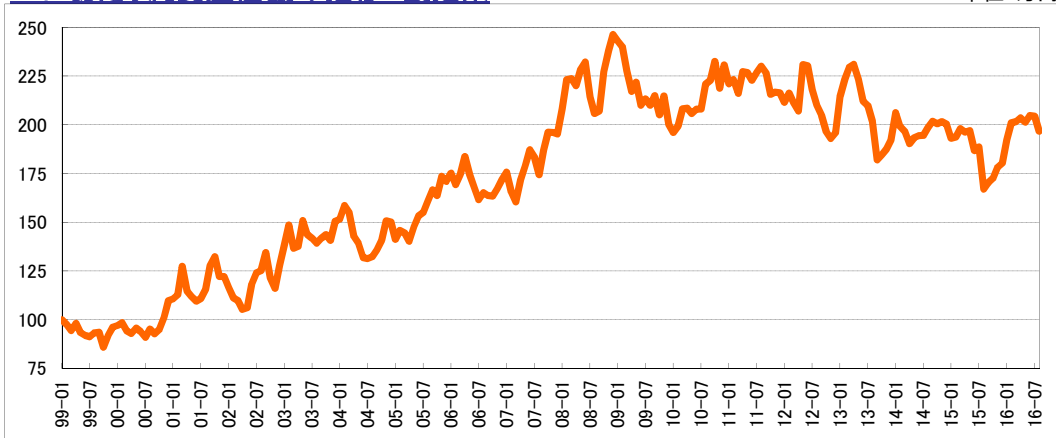
一口あたり純資産価額の推移 直近五ヶ月間

単位：万円



一口あたり純資産価額の推移 設定来

単位：万円



マーケット概要

ドル円は、安倍政権が規模を拡大した経済対策を発表すると円安に傾斜したものの103円が重く、日銀の追加緩和期待後退もあって中旬には一時100円を割りこみました。ユーロドルは、英国の利下げもあって上旬の1.1040ドルから1.1365ドルへユーロ高傾向。ただ、月後半は米国の利上げ観測からドル高に転じ、ドル円では103円台、ユーロドルは1.11ドル台で越月しました。

主要国の短期金利は、円、ユーロはマイナス圏で横ばい、ドルではFRB理事による利上げへの言及で月間を通して上昇傾向となりました。長期金利は、米国債は利上げ観測が強まる中でも月間を通し横ばい。英国債では利下げの決定で上旬に水準を引き下げ、ドイツ債はマイナス圏の横ばい推移。国内では7月末の日銀決定を受けマイナス幅を縮小した後、横ばいとなりました。

主要国の株価指数は、前半は概ね堅調となりました。企業の四半期決算を背景に米国株はNYダウが過去最高値を更新、英国株は英中銀の金融緩和が支援となりました。下旬は原油安を受けてエネルギー関連銘柄安が主要国の株価指数の上値を抑えたほか、米国の利上げ可能性が見直されたことで伸び悩みました。日本株では、月末にかけて円安を支援に上値を伸ばしました。

原油相場は、ブレントは月初の41.51ドルを安値に急伸しました。ガソリン需要のピークを迎えた米国の原油、石油製品在庫が減少に転じ、OPECで増産凍結に向けた動きが見られたことから中旬には51ドルへ上昇。ただ、イランの増産姿勢は変わらず、米国でも石油掘削リグの稼働数が増加傾向しており、米国の利上げ観測によるドル高もあって47ドル水準へ反落して越月しました。

金相場は、月初の1,366ドルを高値に軟調となりました。英国の利下げや、米国雇用指標の堅調によるドル高、米国株の最高値更新で金ETFの売却が上値を抑制。月後半にはFRB理事の利上げへの言及が相次ぎ、月末のイエレンFRB議長の講演で利上げ方針を確認すると一段安となり、1,310ドル割れで越月しました。中国、インド等の宝飾需要鈍化も弱材料となりました。

トウモロコシ相場は、米国の豊作予想を織り込んだ下げが320セントで一服し、上旬は横ばい推移となりました。米農務省が発表した過去最大の単収予想に対する懐疑的な見方から中旬には反発しましたが、335セントに届かず反落。月末には民間の産地調査で豊作が再確認されたほか、ドル高や原油安も圧迫となり、月末には301.00セントと年初来安値を更新しました。

《投資家の皆様へ》1999年3月以降に追加出資された方は、取得口数が参加時期により異なりますので、別添の募集月別のアセットライ評価額一覧表にてご自身の損益をご確認ください。

【お問合せ先】岡藤商事株式会社 法人事業部投資商品課

フリーコール：0120-33-7639(受付時間：土日祝日を除く平日8:30～17:00)

E-mail：center@okato.co.jp Web site：http://www.shouhin-fund.com/index.html#assettry

◆当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。◆騰落率の数値は、運用開始日の1口当たりの純資産価額(¥1,000,000)を基準に算出しています。(小数点以下第3位を四捨五入)。◆当ファンドの運用成績は過去の実績に基づいたものであり、将来の運用成績を保証するものではありません。◆当ファンドの純資産価額は運用対象である商品、有価証券、通貨、金利等の先物取引や現物取引などの値動きの影響を受け、投資元本を割り込むことがあります。◆当資料は当ファンドの受益者へ情報を提供することのみを目的としたものであり、ここに記載される商品の売却や購入について勧誘するものではありません。◆当ファンドは円建の積極運用追加型商品ファンドです。

「アセットトライ」に係る手数料等について

参加手数料：申込金額の2.16%（消費税含む。）

解約手数料：解約金額の1.0%（解約時にお客様が受け取る実際の受領金額は、営業者指定銀行における海外送金手数料及びお客様受取銀行における事務手数料が解約償還金額から控除された金額となります。）

管理料：純資産価額の年率1.5%

先物投資顧問料：運用委託額の年率2.0%

成功報酬：運用収益の20%

先物取引手数料：（海外先物取引/海外先渡取引）原則として1枚（往復）当たり上限15米ドル
（外国為替取引）原則として百万米ドル（又は外貨の相当額）に対して上限15米ドル

業務代行報酬：純資産価額の年率0.15%

その他費用（実費）：初期費用、送金銀行に対する手数料、先物運用会社の会計監査費用、営業者及び先物運用会社の期中管理に係る費用、営業者の登録に係る費用、期中に於ける弁護士・税理士費用（ケイマン諸島に於ける弁護士費用を含む。）、関係会社及び先物運用会社のシリーズA株式に係る計算・会計事務に関わる費用、営業者株式の信託会社に対する受託費用・本商品ファンド継続販売のための書面に係る企画・改訂・印刷費用等

管理料、先物投資顧問料、成功報酬、先物取引手数料、業務代行報酬及びその他費用については、事前に計算できないため、当ファンドに係る手数料等の総額または上限額を表示することはできません。

「アセットトライ」に係るリスクと留意点

当ファンドは、先物市場等の値動きにより、大きな収益を得る可能性がある反面、投資元本を割り込む損害を受ける可能性もあるハイリスク・ハイリターンの商品です。投資する商品は多岐にわたり、各々の商品に対して買いのポジションも売りのポジションも持つため、先物市場又は外国為替市場等の特定の指標の値動きが先物運用顧問会社の判断と異なる場合は損失が発生することがあります。当ファンドは元本や収益が保証されているものではありません。資産の一部が外貨建てで運用されるため、為替の変動により収益・損失が増減することがあります。預金保険の適用はありません。当ファンドでは、1口当たりの純資産価額が700,000円を下回った場合には繰上げ償還することがあります。クーリング・オフの適用はありません。投資家が取得する商品ファンド関連受益権は、相続、遺贈、破産その他これらに準ずる場合または金融商品取引業者が転売する場合を除き、第三者には直接譲渡できません。契約締結前交付書面を十分にお読みいただき、当ファンドの特徴とリスクの内容をご理解下さい。

金融商品取引業者の概要

商号：岡藤商事株式会社

登録番号：関東財務局長（金商）第2608号

本店所在地：東京都中央区新川2-12-16

加入している金融商品取引業協会：一般社団法人第二種金融商品取引業協会